**もしイノシシやシカなどの野生動物に出会ってしまったら**

野生の動物は本来、臆病でおとなしい性質を持っています。普通、野生動物が人に出会っても向こうから逃げることが多いですが、興奮していたり、発情期（晩秋～冬）や分娩後で攻撃的になっていたり、身の危険を感じた場合は向かってくることがありますので注意が必要です。

ケガや事故を防ぐために次のことを守りましょう。

**（１）近づかないこと**

何もしてこない場合は、近寄らず放っておいてください。しばらくするとイノシシは場所を移動します。

**（２）ゆっくりと静かに行動すること**

近づいてきた場合は、ゆっくりと後ずさりしてください。大声を出したり、急に動くなど刺激を与えるとイノシシが驚いて思わぬ事故につながる恐れがあります。

**（３）餌になりそうなものを体から遠ざけること**

イノシシは、嗅覚に優れているため、持っている食べ物のニオイを嗅ぎつけて近寄ってくる場合があります。この場合には速やかに食べ物を体から離して、ゆっくりとその場を離れてください。

**（４）刺激しないこと**

動物を追い掛け回すのは絶対にやめてください。興奮して周りの人を襲うなど大きな事故につながる危険があります。

近づいて写真を撮る、餌を与えるほか、近くにいないにもかかわらず追い払うために石を投げるといった行為は、重大な事故が発生することがありますのでやめてください。

※　興奮状態：牙を鳴らして音を出している、毛を逆立てている、慌ただしく　走り回っている、地面を脚で引っかいているときなどです。

**（５）運転に気を付けること**

　　町内でも道路上でケガをしたシカが確認されています。多くは夜間交通事故などによる衝突が原因と考えられます。

　　運転の際は十分に注意してください。